

平成三十年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一** から **四** まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。
- 4 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一

次の問いに答えなさい。

問一 (1)～(4)の——線部の読みを書きなさい。

- (1) ピカソはスペイン出身の著名な画家だ。
- (2) 高校生の棋士が主人公の小説が人気だ。
- (3) ランナーは沿道からの声援に奮い立った。
- (4) 好きな音楽を聴きながら憩いのひとときを過ごす。

問二 (1)～(4)の——線部を漢字で書きなさい。

- (1) アサガオのつるがふくざつにからみ合っている。
- (2) 私たちの地域ではあいさつ運動をすいしんしている。
- (3) 風に乗ってタンポポの綿毛が遠くまでとばされる。
- (4) 犬も歩けばぼうに当たるといふことわざがある。

問三 行書で書かれた次の文字を見て、(1)、(2)に答えなさい。



(1) この文字の「へん」快を楷書で正しく丁寧に書きなさい。

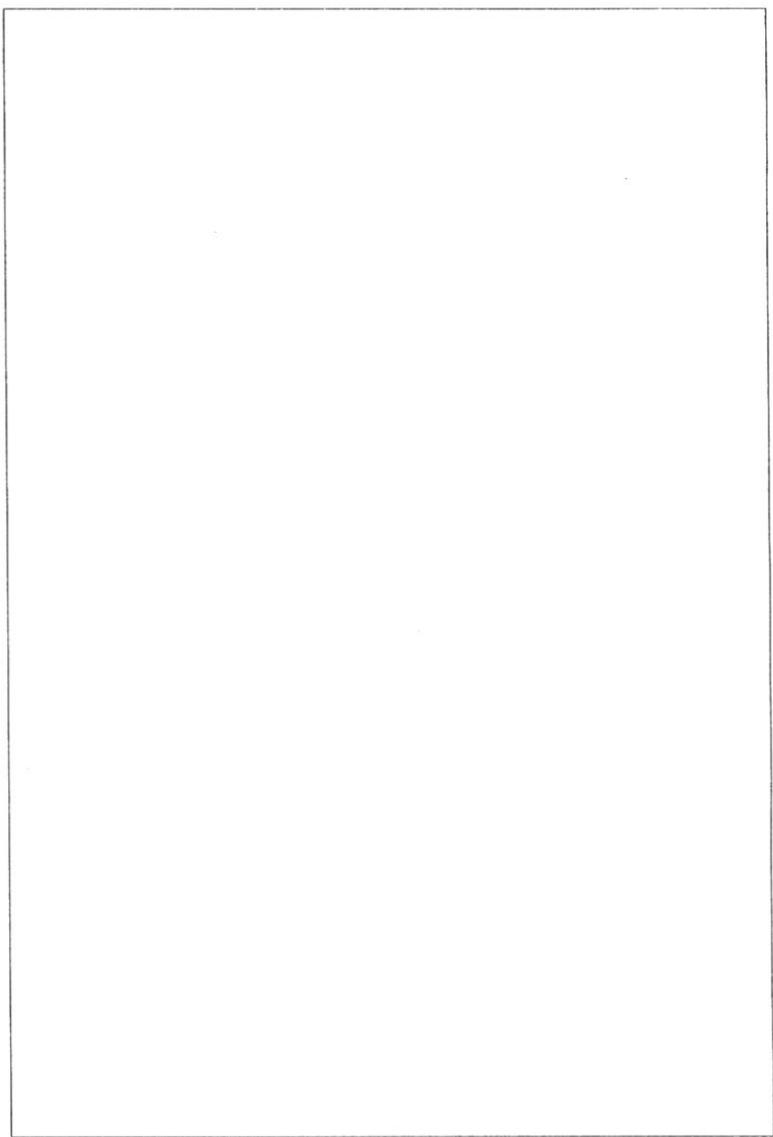
(2) この文字の(——)で囲んだ部分①、②に表れている行書の特徴の組み合わせとして最も適当なものを、ア～クから選びなさい。

- | | | | | | |
|---|---------|-----------|---|---------|---------|
| ア | ① 点画の省略 | ② 点画の形の変化 | イ | ① 点画の省略 | ② 点画の連続 |
| ウ | ① 点画の省略 | ② 点画の省略 | エ | ① 点画の省略 | ② 筆順の変化 |
| オ | ① 点画の連続 | ② 点画の形の変化 | カ | ① 点画の連続 | ② 点画の省略 |
| キ | ① 点画の連続 | ② 点画の連続 | ク | ① 点画の連続 | ② 筆順の変化 |

問四 次の文の [] に当てはまるように、「よい」という形容詞の活用語尾を書きなさい。

博士は資料を見ながら、どうしたらよ [] うと考えていた。

問五 次の文章を読んで、(1)～(3)に答えなさい。



(1) 線1「もうひとつ、砂漠生活に適応した不思議な能力がある」とありますが、筆者が述べているラクダのこの不思議な能力を、ふつうの哺乳動物との違いが分かるように、次のようにまとめるとき、 [] ①、②に当てはまる表現を、それぞれ文中から書き抜きなさい。ただし、①は六字、②は十五字以上、二十字以内とします。

外温が上がると、ふつうの哺乳動物は、 [] ① [] で体温を調節するが、ラクダは、 [] ② [] を防ぐために [] ② [] ことができる。

(2) 線2「体温調節」とありますが、これ以外に、砂漠に出たラクダは、どのようにして水分の消失を防いでいると筆者は述べていますか。解答欄に示した表現につながるように、十字程度で書きなさい。

(3) 線3「ふつうの動物では……ラクダは平気なのです」とありますが、ここで、筆者が言おうとしていることを、次のようにまとめるとき、 [] に当てはまる表現を、五字以内で書きなさい。

ラクダは、一般的な動物と比べて、ある程度 [] なっても平気であるということ。

二 次の問いに答えなさい。

問一 (1)、(2)の文から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ書き抜き、同じ読みの正しい漢字を書きなさい。

- (1) 明日の学級活動で、炊事遠足での各班の持ち物を確任することになった。
(2) 夏休みの思い出は、大好きな祖父と一緒に昆虫採集に出掛けたことだ。

問二 次は、漢和辞典の「柔」という字の説明の一部です。□で囲んだ熟語に使われている「柔」の意味として最も適当なものを、「漢和辞典の一部」の意味の①～④から選びなさい。また、□で囲んだ熟語の読みを書きなさい。

「漢和辞典の一部」

【柔】

9画 常用

訓

やわ(らか)・やわ(らかい)

柔和

意味

- ① やわらかい。しなやか。
② よわよわしい。もろい。
③ おだやか。心やさしい。おとなしい。
④ 安心させて手なずける。やわらげる。

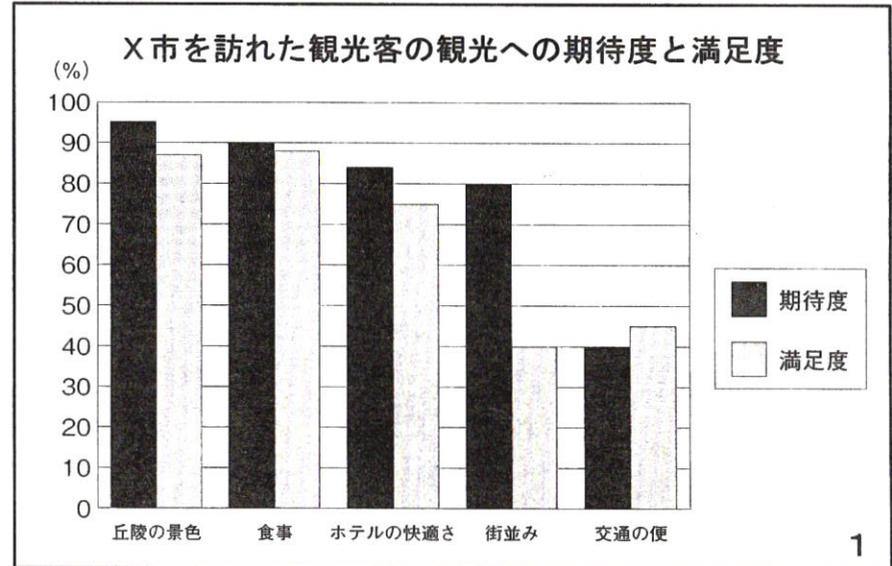
問三 X市に住む中学生の川崎さんが、総合的な学習の時間で、「X市を訪れる観光客を増やすための取り組み」について考えたことを、スライドを提示しながらクラスの中で発表することになりました。次は、川崎さんの発表原稿(A)と、発表のときに提示したスライド(B)です。これらを読んで、(1)、(2)に答えなさい。

(A) 川崎さんの発表原稿

私は、X市を訪れた観光客の観光への期待度と満足度の両方が高い項目に着目し、今後の課題について考えることにしました。なぜここに着目したかという点、期待度と満足度の両方が高い項目に着目した方がよいと思ったからです。

なお、ここでは、70%以上の項目を高いとして扱うこととします。

期待度も満足度も高かった項目は三つありますが、これらの項目は、X市を訪れる観光客の期待に応えることができたのだと考えられます。期待を満足させられた人は、また来たいと思ったり、他の人にX市の魅力を伝えてくれたりすると思われるので、X市を訪れる観光客を増やすためには、これらの項目の満足度の高さを保つ必要があります。きれいな丘の景色を維持するなどの取り組みが大切だと思います。



- ### X市を訪れた観光客の声
- 期待度も満足度も高かった人の声 (一部)
 - ・ 丘の景色が期待以上にきれい。
 - ・ 新鮮な海の幸が食べられて満足。
 - ・ スイーツの食べ放題に感激。
 - ・ ホテルの部屋が清潔で、部屋から見る景色も最高。
 - 期待度よりも満足度が低かった人の声 (一部)
 - ・ 食事はおいしかったが、値段が高い。
 - ・ ホテルの部屋が狭い。
 - ・ 歴史のある建物が傷んでいて残念。

(1) 川崎さんは、発表を聞いた鈴木さんから、「——線「期待度と満足度の両方が……よいと思ったからです」の部分不適切であるという指摘を受けました。その理由として最も適切なものを、ア～エから選びなさい。

ア 書いてある内容が、発表全体の趣旨とは関係のないものになっているから。

イ 書いてある内容が、二通りの意味に受けとめられ、伝えたいことが明確ではないから。

ウ 書いてある内容が、前の一文で述べていることの根拠となっていないから。

エ 書いてある内容が、前の一文と矛盾していて、論として筋が通らなくなっているから。

(2) 鈴木さんは、川崎さんの発表を聞いたあと、(B)を用いて、川崎さんとは違うことに着目した発表をしようと思いました。あなたが鈴木さんになったつもりで、次の条件1～3にしたがって、発表原稿の一部を書きなさい。

条件1 期待度と満足度の差が最も大きい項目に着目し、どの項目に着目したか明示すること。

条件2 条件1で着目した項目について、期待度と満足度の差が大きいことは、どのようなことを表しているのかについて書くこと。

条件3 X市を訪れる観光客を増やすための取り組みについて、X市を訪れた観光客の声を踏まえて書くこと。

三

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一 — 線1「亀乃介は目を見張った」とありますが、亀乃介がどのようなことに目を見張ったのかを、次のようにまとめるとき、 ①、②に当てはまる表現を、それぞれ文中から書き抜きなさい。ただし、①は十字、②は二十六字とします。

人夫が  ①
てアトリエにどうにか設置した大きな印刷機から、
 ②
った、繊細な版画が生み出されること。

問二 — 線2「自分で創ってみたまえ」とありますが、リーチがこのように言ったのは、印刷機を操作していた亀乃介の様子だが、リーチの目にはどのように映っていたからですか。解答欄に示した表現につながるように、二十字程度で書きなさい。

問三 — 線3「平手打ちをされたような気持ちになった」とありますが、亀乃介がこのような気持ちになったのは、エッチングを創りたいという思いを押さえつけてきた自分の心かどのようなものだったと気づいたからですか。最も適当なものを、ア〜エから選びなさい。
ア 印刷機を上手に操作できるのは、自分において他にはいないと思いがあっていて。
イ 先生のことをうらやましいと思うだけで、自分に自信をもてずに縮こまっていた。
ウ 初心者によるエッチングは高価な材料の無駄遣いだと言われることを恐れていた。
エ リーチの助手という立場に満足で、芸術家になりたいという願いは全くなかった。

問四 — 線4「欲望が、創造を生む」。わかるかい？」とありますが、リーチはこのとき、亀乃介にどのようなことを伝えようとしていたと考えられますか、四十五字程度で書きなさい。

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

ある時、狐、餌食を求めかねて、「ここかしこさまよふ所に、鳥肉をくはへて木の上に居れり。狐、心に思ふやう、われこの肉を取らまほしくおぼえて、鳥の居ける木のもとに立ち寄り、「いかに御辺、御身は万の鳥の中にすぐれてうつくしく見えさせおはします。しかりといへども、すこし事足り給はぬ事とは、御声の鼻声にこそ侍れ。ただし、この程世上に申せしは、『御声もことの外によくわたらせ給ふ』など申してこそ候へ。あはれ一節聞かまほしうこそ侍れ」と申しければ、鳥、この儀を誠と心得て、「さらば声を出ださん」とて口をはたけるひまに、終に肉をおとしぬ。狐、是を取つて逃げ去りぬ。

そのごとく、人いかに讃むるといふとも、いささか真と思ふべからず。もしこの事をすこしも信ぜば、慢気出来せん事疑ひなし。人の讃めん時は、謹んでなほ謙るべし。

〔伊曾保物語〕による

(注) 取らまほしくおぼえて——取りたいと思つて。 御辺——あなた。
 見えさせおはします——いらつしやいます。 世上——世間の人々。
 よくわたらせ給ふ——よくていらつしやる。 儀——こと。
 はたける——開いた。 慢気出来せん事——おごり高ぶる心が出てくること。

問一——線「取らまほしく」とありますが、このように思ったのは誰ですか、ア～エから選びなさい。

ア 狐 イ 鳥 ウ 世間の人々 エ 作者

問二 文中の狐と鳥のやりとりなどを、次のようにまとめるとき、 ①、②に当てはまる表現を、それぞれ五字以内で書きなさい。

狐が鳥に言ったこと 「あなたの姿は多くの鳥の中で特に美しいが、少し不十分な点は、声が ① ところだ。しかし、世間の人々はあなたの声がよいと言っているので、一声聞きたい」		鳥の行動とその結果 狐の言ったことを信じて、「それなら ②」と口を開いたところ、くわえていた肉を落としてしまった。
--	--	--

問三 この文章で作者は、人が教訓として受けとめるべきことはどのようなことだと述べていますか、最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア たとえ自分が損をしたとしても、困っている人には親切にした方がよいこと。
- イ 人に褒められたときは、謙虚になりすぎることなく、自信をもった方がよいこと。
- ウ 欲しいものは何でも手に入るといふ、おごり高ぶった心は捨てなければならぬこと。
- エ 人に褒められたときは、その言葉をうのみにせず、謙虚でなければならぬこと。

第一部 国語

正答表

問題番号	正		答		配点	通し番号
	正	答	正	答		
1	ちよめい				1	①
2	きし				1	②
3	ふる(い)				1	③
4	いこ(い)				1	④
5	複雑				1	⑤
6	推進				1	⑥
7	飛(ばされる)				1	⑦
8	棒				1	⑧
9	↑				1	⑨
10	オ				1	⑩
11	かろ				2	⑪
12	汗をかくこと ① 外温の上昇に合わせて自分の体温を上げ ②				3	⑫
13	ほとんど尿を出さない(ようにして防いでいる。)				3	⑬
14	尿が濃く (正答例)				3	⑭
15	(誤って使われている漢字)任 (正しい漢字) 認				1	⑮
16	(誤って使われている漢字)租 (正しい漢字) 祖				1	⑯
17	(意味) ③ (読み) にゆうわ				2	⑰
18	ウ (正答例) 私は、街並みに着目しました。この項目は、X市を訪れる観光客の期待に応えられなかったのだと考えられます。観光客を増やすためには、傷んだところを直すなど歴史のある建物を守っていく取り組みが大切だと思います。 四人がかりで綱をかけ やわらかな風合いの和紙にくつきりと黒い線が浮かび上が (正答例)				3	⑱
19	問三 (2)				8	⑲
20	問一 ②				3	⑳
21	問二 印刷機のハンドルを回す亀乃介の目が輝いている(ように映っていたから。)				4	㉑
22	問三 イ (正答例) エッチングを創ってみたいという気持ちを正直に口に出すことが、作品づくりにつながる				3	㉒
23	問四 エ 直に口に出すことが、作品づくりにつながる				5	㉓
24	問一 ア (正答例) 鼻声である				2	㉔
25	問二 ① (正答例) 鼻声である				2	㉕
26	問三 ② (正答例) 声を出そう				2	㉖
27	問三 エ				3	㉗
60	計				60	

採点基準

一

問五(2)
1 「ほとんど尿を出さない」(ようにして防いでいる)ことが適切に表現されているものを正答とする。
2 字数については、解答欄の枠内で答えるものとし、それを超えるもの、または、極端に少ないものについては、各一点を減じる。
3 表現の稚拙なもの、不十分なもの、表記上の欠陥があるものについては、各一点を減じる。
4 減点の結果がマイナス点にならないようにする。

二

問三(2)
1 条件1、3に従って適切に表現されているものを正答とし、そのいずれかを欠いた場合は、各三点を減じる。
2 その他については、一の問五(2)の採点基準3、4に準じる。

三

問二
1 印刷機のハンドルを回す亀乃介の目が輝いていたことが適切に表現されているものを正答とする。
2 その他については、一の問五(2)の採点基準2、3、4に準じる。

問四

1 「エッチングを創ってみたいという気持ちを正直に口に出すことが、作品づくりにつながる」ことが適切に表現されているものを正答とする。
2 その他については、一の問五(2)の採点基準2、3、4に準じる。

四

問二
1 ①は、「鼻声である」ことが、②は、「声を出そう」としたことが、適切に表現されているものをそれぞれ正答とする。
2 字数については、設問の指示に従って答えるものとする。
3 その他については、一の問五(2)の採点基準3、4に準じる。

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。